



久遠塾

君の世界に芽生えるものは
vol. 09



かみうち ともひで
塾長 上内 智英

連日マイナスの気温が続いている白糠ですが、暦の上では春、新春がスタートしています。久遠塾がオープンして1年と8カ月。今回はこの間の久遠塾の変化と、これからの久遠塾についてお話ししたいと思います。

放課後スペースの活用

昨年4月から「公民館スペース」に加えて、白糠高校内「放課後スペース」の2カ所で久遠塾の活動ができるようになったことはすでにお知らせしました。久遠塾を「もっとたくさんの生徒の皆さんに気軽に利用してもらえたら」という思いで始めたこの取り組みは、白糠高校の先

生方の協力で実現しました。

いざ始めてみると、隙間の時間を上手に利用する生徒が多いことに気づきました。部活動に行く前、学校の授業の小テスト前、漢検・数検などの検定前など。1問を解きに来る、聞きたいところを聞きに来るといったスマートな利用方法が多かったのです。そこで来年度は、この短い時間、隙間の時間をさらに有効に活用してもらうため、学校の昼休みの時間も開塾できるように進めていく予定です。

「継続と進化」のゼミ授業

今年度、全8回開催してきた「地理っ子クラブ」。1月31日はALTの2人をゲストに迎えて行いました。高校生、白糠高校の先生方、そして町民の方にも参加していただき、楽しみながらイギリス・アメリカ合衆国についての理解を深めました。今回は司会進行役を高校生が務め、ゲストの2人と協力して作りました。ゼミ授業になりました。

●白糠高校2年 渡邊春冬さん



自分にとって、司会進行役を務め、発表することができたこと、はとも貴重な体験でした。発表前の準備で、外国の方と一緒に話しながらできたことがとてもよかったです。ヨーロッパに興味があるので、次はポロランド・ドイツのことを講座で取り上げてほしいです。

2月4日、白糠高校出身でレストラン「クオーレ」のシェフ、漆崎雄哉さんを招き「白糠の仕事人」を開催しました。漆崎シェフから仕事観・人生観について語っていただきました。



●白糠高校1年 石川星奈さん
クオーレのことは知っていましたが、白糠高校を卒業した先輩がシェフをしているのは、今回初めて知りました。当日は緊張しましたが、漆崎さんが優し

かったので、リラックスしてお話を聞けました。お店を出してのお菓子をいただきました。とてもおいしかったです。

どちらのゼミ授業も、回数を重ねるうちに、高校生の「知りたい、聞きたい、やってみよう」を形にして発表できる場へと変化していきました。

来年度のゼミ授業はこの流れを汲みながら、さらに進化させながら学びを深められる場になればいいと思っています。

★今後のゼミ（会場・久遠塾 公民館3階）

●3月13日（金）（2講座同日開催）

- ①志らゼミ 18:15～19:15
- ②美文字講座 19:30～20:30

●3月19日（金）

- ③久遠塾座談会 18:15～19:15

※②と③は町民ならどなたでも参加できます。

問合せ ●久遠塾 ☎ 080-2182-1379
13:00～21:00（平日）